



国際協力出前講座 青年海外協力隊体験談 テンプレート

【人権教育】

1. 自己紹介

導入 ～何かが始まる期待感を演出～

- 民族衣装で登場（生徒に着せるのも有）
- 現地語でのあいさつや自己紹介
- 現地語の文字を見せる（珍しければ）

学生時代の話（聴講者の年齢に応じて）
社会人経験者であれば前職の話
協力隊に参加したきっかけ

2. 人権って何？

辞書を引いてみると

人間が人間らしく生きるために
生来持っている権利(大辞林 第三版)

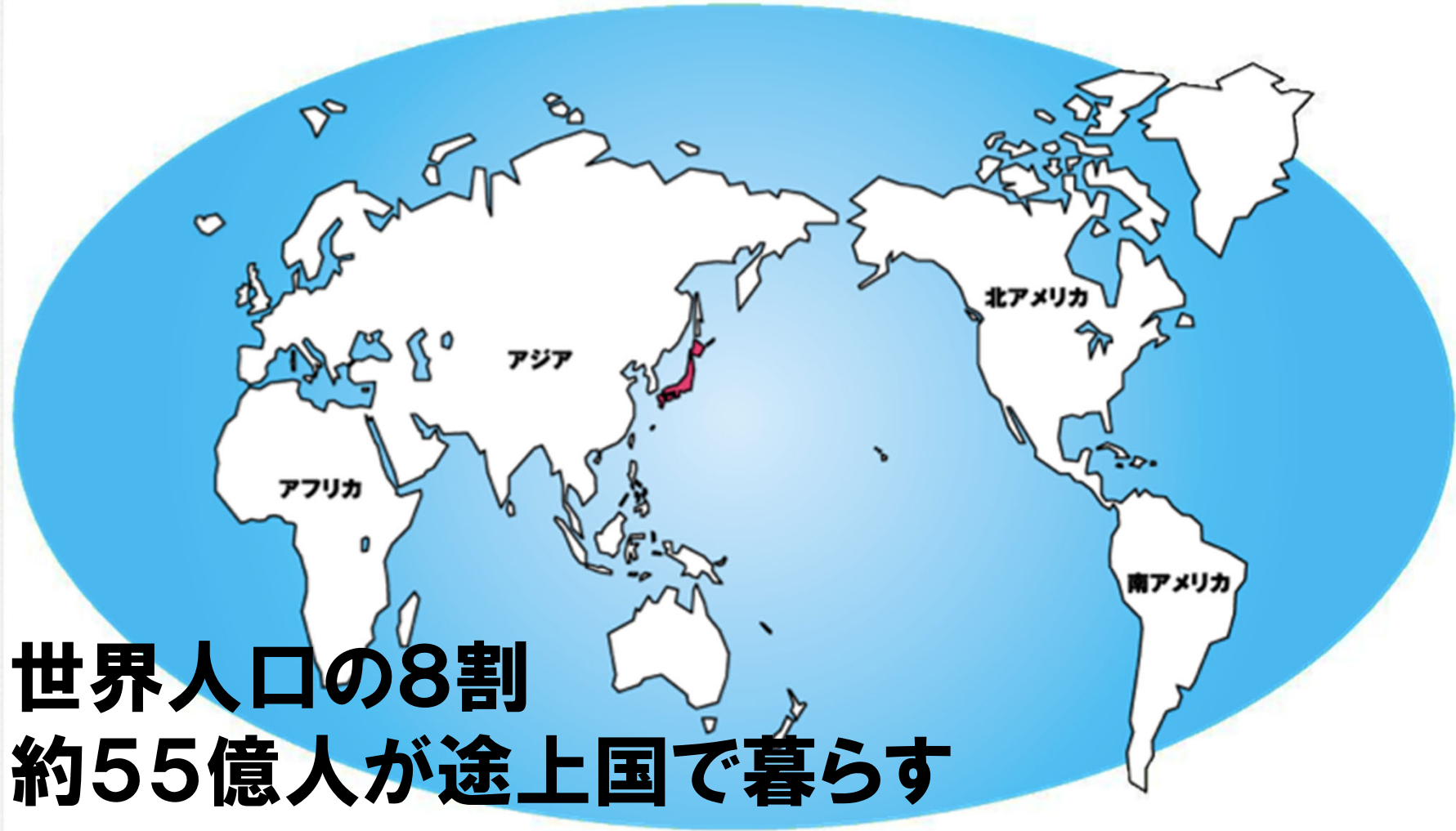
では、みんなが**幸せに健康に**
生きるためにはどんなものが
必要でしょうか？

どんな人権がある？

- 自分の思ったことを自由に口にすること
- 自分の選んだ宗教を信じること
⇒ 思想・信教の自由：**自由権**
- 最低限の生活を保障される：**生存権**
- 自由に学ぶこと：**教育を受ける権利**
- 選挙に参加する権利：**参政権**

自分の選んだ人と結婚すること、好きな服を着ること、好きな音楽を聴くことetc...
すべて、私たちが持っている「人権」

3. 開発途上国の人権問題





出典: Pinas Academy <http://pinasan.com/wp-content/uploads/2013/11/Slum2.jpg> [2016/04/20]

国際協力機構



世界では
4秒間に一人が
飢餓で
命を落とす

出典：NATIONAL GEOGRAPHIC 日本版 <http://natgeo.nikkeibp.co.jp/nng/article/20120125/297289/?P=2> [2016/04/20]



学校に
通えない
子ども
の数
6700万人

出典：フィリピンのニュースあれこれ <http://philippinearekore.blog.fc2.com/blog-entry-52.html> [2016/04/20]

国際協力機構

4. 国連世界人権宣言

第一条

すべての人間は、生れながらにして**自由**であり、かつ、**尊厳と権利**とについて**平等**である。人間は、理性と良心とを授けられており、互いに同胞の精神をもって行動しなければならない。

第二条

1 すべて人は、人種、皮膚の色、性、言語、宗教、政治上その他の意見、国民的若しくは社会的出身、財産、門地その他の地位又はこれに類するいかなる事由による**差別をも受けることなく**、この宣言に掲げるすべての権利と自由とを享有することができる。

5. JICAのMISSION

人間の安全保障の実現

一人ひとりの人間が中心。脅威からの保護

恐怖：紛争、テロ、災害、環境破壊、感染症

欠乏：貧困、社会サービス・基礎インフラの欠如

自分で対処する能力を強化⇒

尊厳ある人生を送れる社会づくりを目指す考え方。

JICAは、社会的に弱い立場にある人々をさまざまな脅威から保護するために、社会・組織の能力強化と、人々自身の脅威に対処する力の向上を支援。

6. ○○国ってこんなトコロ！

派遣国の紹介

インターネットで調べられる一般的な情報は簡潔に。

派遣国の紹介や日本とのつながり、
任地・配属先などの紹介

※クイズなども交えて少し明るい話題を。

7. ○○国の人権問題

派遣国の人権問題 写真を見せどんな場面か考えさせる。

具体的なテーマとして

- 貧困 ⇒ 生存権、教育・就職の機会の欠如
- 基礎インフラの欠如 ⇒ 水・電気・医療へのアクセス
- ジェンダー ⇒ 男尊女卑、女子の就学率、児童婚
- 子どもの権利
 - ⇒ ストリートチルドレン、児童労働、少年兵、未就学児童
- 障がい者・社会福祉
 - ⇒ 障がい者に対する差別、物乞いに利用される障がい者
- HIV・AIDS感染者・アルビニズムに対する差別や迫害
- 難民・移民問題
 - ⇒ 差別からの保護、信仰の自由、働く権利、住居、教育等
- 先住民族・少数民族 ⇒ 土地、自治、文化、宗教、母語教育

例



児童労働
1億6800万人

出典: Harmony FOUNDATION http://harmonyfdn.ca/?page_id=861 [2016/07/27]

国際協力機構

例

2.2kg

日本人一人あたりの年間
チョコレート消費量

日本全体では年間

約28万t

自分の子どもも
学校に行けない



学校に
行けない



働くための技術や能力が
身に付かない



子どもが親の手伝いを
しなければいけない



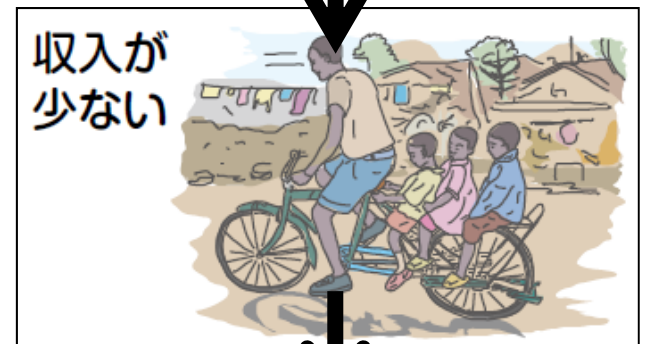
収入の安定した仕事に
就けない



仕事か
できない



収入が
少ない



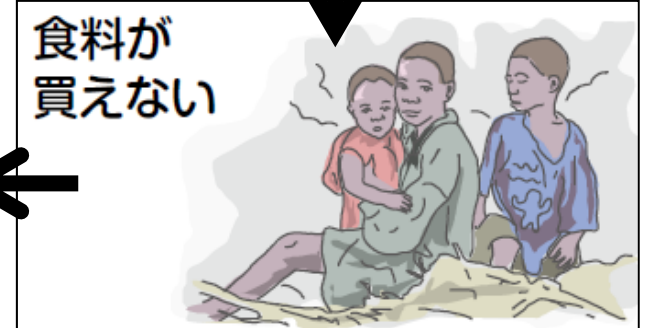
びょうき
病気に
なりやすい



十分な栄養が
摂れない



食料が
買えない



学校に
行けないと
どうなる？

8. 活動紹介

派遣国、配属先の課題

どんな開発課題があり、それを解決するためにどんな活動を行ったのか。ボランティアだからできたこと。等

7.に直結していなくても可。

可能であれば何かしら関連性を持たせて紹介できると、なお良い。

例

コミュニティ開発隊員なら

- ①現金収入の向上につながるような活動
一村一品運動や民芸品のワークショップの開催
- ②特産物の創出や技術の向上
- ③村人の現金収入が増える
- ④子どもを働かせなくてよくなる
- ⑤子どもが学校に通える

9. 活動を振り返って

- 上手くいかなかったことや苦勞したこと
- 壁にぶつかった時、どう乗り越えたか
- 活動の成果、どんな変化があり何を残せたのか
- 自分自身の成長
- 今の生活にどう繋がったのか、あるいは繋がらなかったのか
- 行ってよかったか、何を得たのか 等

10. 終わりに

講師からのメッセージ

- 人権を尊重するために大切なこと
- 隊員経験を通じて学んだ異文化理解の重要性⇒違いを認めることは、相手の権利を尊重することにもつながる
- 新しい人権も増える。人権とは何か考え続けることが大事。
- 無関係ではない。知らない間に人権侵害に加担しているかも

携帯電話の レアメタルが 紛争の資金源に

例

例 大事にしてほしい三つの人権

自分の人権

自分自身を大切に。自己決定権、自分の未来は自分で決めよう。

目の前にいる相手の人権

相手の立場に立ち、考えや気持ちわかろうとする想像力、共感力。

目の前にいない人の人権

世界とあなたは無関係でない。より良い社会づくりに参画しよう。